

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	あおぞら					公表日	R7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100			改善や工夫の余地がまだあると感じている。掲示物や療育スペースの安全性や安心して活動できる環境整備を整えて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100		お子さんの心身的状況や様子から、個別場所で安心して過ごせる環境整備を行っております。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		保護者さんと関係機関との共有の元、子どもたちの様子から一人一人に沿った活動や声掛け等、統一性のある支援へ繋げるよう務めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100		研修参加後に、社内研修にて同認識、共有の場を設けております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		保護者さんの意向に伴い、ご家庭や事業所でのお子さんの様子から目標設定をさせて頂いております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		会議等にて、支援計画の共有を行い同認識のもと、支援させて頂いております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		5領域に沿いながら、子どもたちが楽しみ進んで参加できるよう、各職員意見を出し合い活動内容の設定を行っております。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		児童来所前に一日の活動内容等を確認し、支援、サポートをさせて頂いています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100		活動内容や声掛け等各場面での気づきを共有し、次回利用時の向けて活動設定や見直しを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100		保護者さんと職員間での、計画見直しを行い、必要に応じて面談を設け、計画の変更確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			各職員研修を受け、社内研修での引継ぎを通し、支援提供へ繋げております。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	60	40		事業所内でのイベントや行事を通して、子どもたちの交流の場を設けられるよう務めて参ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		保護者さん参加型の各研修で、ご家庭やお子さんに必要な支援提供やサポートへ繋がるよう研修機会を設けて参ります。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80	20		保護者さん参加型の各研修で、ご家庭やお子さんに必要な支援提供やサポートへ繋がるよう研修機会を設けて参ります。	
40	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100		面談や送迎時に、ご家庭や事業所内での様子を共有し、声掛けや促し方法や変化を細かく連携させて頂いております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100		年1で保護者会を開催し、作品展やミュージックライブ等で保護者さんとの交流の促しサポートを行っております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100		ホームページやInstagram、Xにて日々の子どもの活動内容の発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80	10		町内郵便局のご協力の元作品展やミュージックライブの開催しております。今後も、子どもたちが地域に触れあえるよう努めて参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全計画の見直しや会議にて研修を行っております。送迎時やおたよりにて研修内容を保護さんが周知しやすいよう工夫しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		3カ月に1度社内研修にて、研修を設け再認識や振り返りを行い、より良い支援へ繋げております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100				